

2021 年度水辺の自然再生共同 WEB シンポジウム

水辺の原風景-昔と今そして未来

温暖化・侵略的外来種対策と世界農業遺産「大崎耕土」の推進

期 日 2021 年 10 月 24 日（日）～11 月 14 日（日）
会 場 シナイモツゴ郷の会 URL （WEB シンポジウム）
主 催 NPO 法人シナイモツゴ郷の会、旧品井沼周辺ため池群自然再生協議会、
全国ブラックバス防除市民ネットワーク、ナマズのがっこう
後 援 大崎市、大崎市教育委員会、JA 新みやぎ、TOYO TIRE グループ環境保護基金

開催趣旨

2007 年以来、多くの方々のご協力を得ながら、水辺の自然再生共同シンポジウムを東京と宮城県大崎市の会場で交互に開催してきました。これまで、全国の水辺の自然再生活動に関連する様々な情報と意見交換を実施してきました。内容は活動紹介、新技術の紹介、研究報告、制度や法律の紹介など多岐にわたります。特に、社会的に問題化し緊急に解決すべき事案を中心課題に設定し議論してきました。今回は急速に進行する地球温暖化と外来生物法による規制が検討されているアメリカザリガニとアカミミガメの影響と対策が中心課題です。

今回もコロナ感染症対策のため、YouTube を活用した WEB 開催とします。開催期間は 10～11 月の 3 週間です。講演動画はシンポジウム終了後、1 年間掲載予定です。当会 URL 経由で自由にアクセスし、全国の多くの方々にご視聴いただきたいと考えています。

開催スケジュール

10 月 24 日（日）～11 月 14 日（日）

各講師が作成したナレーション挿入パワーポイント動画を URL などへ掲載

10 月 24 日（日）～31 日（日） 一般からの質問受付

11 月 1 日（日）～14 日（日） 各講師による主要な質問への回答文を掲載

11 月 6 日（土） WEB 総合討論

（microsoft teams による WEB 会議を開催し動画収録）

11 月 7 日（日）～14 日（日） 総合討論ビデオ動画を URL へ掲載

講演と総合討論動画はシンポジウム終了後 1 年間掲載予定です。

講演への質問

第一部～第三部の講演に対する質問を受け付け、各講師から回答していただきます。

別紙様式に記入し質問は問い合わせ先アドレスへメールで送ってください。

受付期間 10 月 25 日～11 月 3 日

回答 11 月 4 日～11 月 15 日に各講師からの回答文を WEB シンポジウム URL に掲載します。
質問が多かった場合やその他の理由で一部の質問に回答できない場合があります。

次 第

趣旨説明 高橋清孝（シナイモツゴ郷の会）

第1部

淡水魚の今と未来-豊かな水辺の自然を守るため何をなすべきか

基調講演

- ①温暖化で変動する東北の海と里山の魚たち
高橋清孝（シナイモツゴ郷の会・（一社）漁業情報サービスセンター）
- ②温暖化に伴う日本のサケの行方
梶山雅秀（北海道大学北極域研究センター）
- ③世界自然遺産知床におけるオショロコマなど淡水魚に及ぼす温暖化の影響
谷口義則（名城大学）
- ④温暖化の影響を配慮した世界農業遺産「大崎耕土」の推進
鈴木耕平（大崎市世界農業遺産推進課）

第2部 バーチャル展示-水辺の自然再生活動紹介

(1) 水辺の豊かな自然を守る活動事例

- ①オオクチバスの駆除の「コツ」～ゼニタナゴ復活をもたらした伊豆沼方式～
藤本康文（宮城県伊豆沼・内沼環境保全財団）
- ②伊豆沼周辺ため池のブラックバス駆除大作戦
三塚牧人（ナマズのがっこう）
- ③里山のため池で生き続けるヨシノボリ類
秦 康之（シナイモツゴ郷の会）
- ④シナイモツゴを保全するシナイモツゴ郷の米
吉田千代志（シナイモツゴ郷の米つくりての会）
- ⑤進展する世界農業遺産「大崎耕土」の取組
三宅源行（大崎市）
- ⑥洞爺湖のウチダザリガニ捕獲と効果
室田欣弘（UW クリーンレーク洞爺湖）

(2) ザリガニ類とアカミミガメの防除に向けて

- ①ザリガニ類連続捕獲装置の使い方
高橋清孝・長谷川政智・内藤朝陽（シナイモツゴ郷の会）
- ②高橋式アメリカザリガニ捕獲装置を小さくしてみた
佐藤方博（生態工房）
- ③ザリガニ幼体捕獲用人工水草の使い方
長谷川政智・高橋清孝（シナイモツゴ郷の会）

- ④アメリカザリガニによるイシガイ科二枚貝の捕食選択実験
久米 学 (京都大学)
- ⑤アメリカザリガニによる淡水シジミへの捕食圧は底質の有無で変わる
北野大輔・鈴木誉士・中川雅博・浅香智也 (びわ湖サテライトエリア研究会)
- ⑥アメリカザリガニの食利用 ザリガニ料理レシピ集
坂本 啓・坂本ひとみ (シナイモツゴ郷の会)
- ⑦大阪府大正川と兵庫県寺田池におけるアカミミガメ防除と効果
西堀智子 (和亀保護の会)

第3部 侵略的外来種を防除して豊かな自然を

-アメリカザリガニ・アカミミガメ等防除の現状と課題

(1) 基調講演

- ①アメリカザリガニとアカミミガメに関する環境省の取組について
大林圭司 (環境省自然環境局野生生物課外来生物対策室室長)
- ②アメリカザリガニ防除の取り組み：現状と課題
中田和義 (岡山大学)
- ③在来種が集中する里山ため池におけるアメリカザリガニの防除
高橋清孝 (シナイモツゴ郷の会)
- ④アカミミガメ、こうやって減らしてます～様々な担い手による防除事例と対策のあり方～
片岡友美 (生態工房)

(2) アメリカザリガニの影響と対策

- ①ため池におけるアメリカザリガニ繁殖阻止の取り組み
長谷川政智 (シナイモツゴ郷の会)
- ②希少な水生昆虫の生息池におけるアメリカザリガニの防除
西原昇吾 (中央大学)
- ③離島におけるアメリカザリガニ侵入阻止の取り組み
吉田正人 (筑波大学)

(3) ブラックバス対策

- ①全国のブラックバス防除活動と問題点
半沢良子 (ノーバスネット)

総合討論

座長 高橋清孝 (シナイモツゴ郷の会)